

小5から急降下する「自己肯定感」を高めたい。 自己をじっとみつめる絵本制作WSを通じて実践!!

みらい育「じっとみて。」ワークショップでは、誰もがカンタンに、楽しく、自分の内面と向き合えます。こうして「いいね!自分。」「いいね!あなた。」に自然と気づき、他の誰でもない自分ごととして「未来への意欲」を実感していけます。たったの2時間で参加者全員が絵本作家になれます。

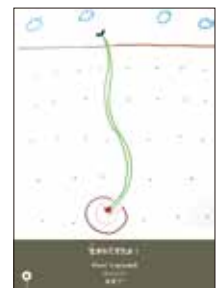


小学校5・6年生の授業風景

みらい育ティーチャーズ(運営母体:株式会社あおむし)は、独創的な体験型授業(みらい育「じっとみて。」授業)を行う集団です。この授業は、世界的にみて、特に低い日本人の自己肯定感を高めたい!という思いから、(株)あおむしの代表(元小学校教諭)である八木知美が開発しました。「自己肯定」、「他者肯定」、「多様性」の3つのポイントを軸に「生きる力」を育むことを目的としています。内容は、自分の内面をじっとみつめて、1冊の絵本を作りあげていくというもので、植物の成長ストーリーに自己を投影し、心に浮かんだイメージを絵と文章で表現していきます。内観という難しい行為ですが、誰もがカンタンに楽しくできる上、他者と交流しながら制作していきますので、客観的な視点で自己を確認・発見できたりします。また、他者の持つ多様な世界観に触れ、視野が広がるなどの効果も期待できます。これまで2歳~87歳まで460名の方が体験し、参加者から約90%の満足を得てきました。小・中・高、特別支援学校などの授業やPTAの行事、世代を超えた地域での交流やCSR活動、国際交流など、色鉛筆と机があれば事前準備なしで、いつでもすぐ実践可能です。

その1●自分の内面を植物の一生に投影し、絵本を作ります。

自分自身の心の風景を植物に投影することで、カンタンに楽しく描くことができます。絵が苦手だと思っている人も、スキルに関係なく楽しめるものです。成長シーンがストーリーなので、否定の介在する余地はなく、常に前進のプロセスの中で内観できます。右の絵は、東日本大震災で家を流された女子高校生の作品(タネから芽が出るシーン)です。



地面の中でずっと涙をこらえ、今、やっと地上に出たイメージ。

その2●ユネスコ世界会議の併設イベントに採択されました!!

2014.11.10~12、ESD(持続發展的な教育)を提唱するユネスコ世界会議にて、「相互協働情報発信プロジェクト」として、株式会社伊藤園様と双方の取組みを発信することができました。協働による相乗効果が来場者へインパクトをもたらし、単独では不可能な効果を生み出すプロジェクトとなりました。

その3●教育や地域社会への貢献活動に。

色鉛筆があれば、わずか2時間で、様々な場面で実践できるワークショップです。学校やPTA活動、フリースクールなど次世代教育への貢献、家族同士や子育て中のママ&パパ支援、また、世代を超えた地域交流による絆への貢献、さらに国際交流や企業研修などさまざまな場面で実践しています。1日で資格を取得できる、ティーチャー養成講座も開催しています。

お問い合わせ



みらい育ティーチャーズ

(株式会社あおむし) 担当: 八木、江角

〒220-8120 横浜市西区みなとみらい 2-2-1 横浜ランドマークタワー 20F
TEL.050-5803-3564 / mail:info@aomushi.com / web:www.aomushi.com

